鱗翅学会 第 71 回大会(東京)プログラム

第 1 日目 2025 年 10 月 25 日(土)

12:30 - 受付開始(A会場 一条ホールエントランス)

10:30 - 12:30	評議員会 A会場 (一条ホール)
13:20 - 13:25	開会挨拶 A会場 (一条ホール)
13:25 - 15:25	一般講演 (セッション 1) A会場 (一条ホール)
A101.	○伊藤建夫 ¹ ・朝日純一 ² ・宇佐美真一 ¹ ・西尾信哉 ¹ ・対馬 誠 ³ ・北原 曜 ¹ (¹ 信越・信大, ² 関東, ³ 北海道), ヒメウラギンヒョウモンの正体を探る (I) 現地調査と DNA 解析結果
A102.	○北原 曜 ¹ ・伊藤建夫 ¹ ・朝日純一 ² ・宇佐美真一 ¹ ・西尾信哉 ¹ ・対馬 誠 ³ (¹ 信越・信大, ² 関東, ³ 北海道), ヒメウラギンヒョウモンの正体を探る (II) サト・ヤマとの交配実験
A103.	○川田智子 (関東) ¹ ・木村祐介 ² (¹ 関東・(公財)東京都公園協会 石神井公園 SC, ² 武蔵野の森公園 SC), 都立公園のバタフライガーデン 公園環境の差異と蝶相の関係
A104.	○牧田 習 ^{1,2} ・矢後 勝也 ^{1,2} ・遠藤 秀紀 ² (¹ 関東, ² 東京大学総合研究博物館), 南日本におけるチョウ相の変動と将来予測
A105.	○松井安俊・星 光流 (関東), 夜間照明誘因フユシヤク類の“激滅”にみる諸問題
A106.	富田尚道 (関東), シバリング & 日光浴の目的再考:サーモグラフィ+翅切除観察による検証
A107.	○川島育海 ¹ , 屋宜禎央 ² (¹ 九州・九州大生資環, ² 九州・九州大農), クロネハイイロヒメハマキ(ハマキガ科:ヒメハマキガ亜科)における寄主の異なる遺伝的に分化した種内集団
A108.	○沈 宗諭 ¹ , 周 明勳 ² , 陳 正為 ^{3,4} , 矢後勝也 ¹ , 徐 堉峰 ³ , 黄 仁磐 ⁴ (¹ 東京大学総合研究博物館, ² アリゾナ大学, ³ 台湾師範大学, ⁴ 中央研究院), Seasonal variation in intraspecific geographical genetic diversity linked to the impact of prevailing wind direction changes on the dispersal of two co-distributed micromoths
15:25 - 15:40	休憩
15:40 - 16:50	授賞式(学会賞, 奨励賞)・受賞記念講演 A会場 (一条ホール)
第五回日本鱗翅学会賞および奨励賞受賞記念講演	
学会賞	
石井 実 (関西)	
チョウ類の生活史と保全に関する研究 ~里地里山のチョウたちと半世紀~	
奨励賞	
屋宜禎央 (九州)	
秘められた小蛾類の多様性と生きざまを探る	
16:50 - 17:00	休憩
17:00 - 18:00	日本鱗翅学会 80 周年記念講演
招待講演 東京大学名誉教授 養老孟司 先生	
「虫の見方 ~情報としてのチョウとガ~」	
18:00 - 18:10	記念写真撮影 A会場 (一条ホール)
18:30 - 20:30	懇親会 一条ホール

第2日目 2025年10月26日(日)

9:00 - 10:00	一般講演 (セッション2)	
A会場 弥生講堂 一条ホール		B会場 農学部2号館 化学第1講義室
<p>A201. ○外村俊輔 (四国・徳島県立博物館), マルハキバガの生息環境に関する知見 (キバガ上科: マルハキバガ科)</p> <p>A202. ○四方圭一郎 (信越・飯田市美術博物館)・坂巻祥孝 (九州・鹿児島大学), 赤石山脈の高山帯で発見された日本未記録のキバガ科</p> <p>A203. ○那須義次¹・松井悠樹²・川島育海² (1 近畿・大阪公大, 2 九州・九州大), カンコノスジヒメハマキ <i>Hedya gratiana</i> Kawabe (ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科) における前翅の2型</p> <p>A204. 屋宜禎央 (九州・九州大), 日本におけるダグラスモグリガ科の発見</p>		<p>B201. ○渡邊通人¹・福田琳之介²・天野綾也²・平井規央² (1 関東・富士山生物多様性研究室, 2 近畿・大阪公立大学大学院), 富士山北麓及び周辺におけるヒメシロチョウのメタ個体群構造</p> <p>B202. ○寺 章夫・蓑原 茂・矢後勝也 (関東), 東京都狭山丘陵でのウスバシロチョウのマーキング調査による個体数推定 第2報</p> <p>B203. ○金澤 至 (近畿)・田原富美子・田口 誠 (アサギマダラの会), 香港で再捕獲されたアサギマダラなどの最新知見</p> <p>B204. 金澤 至(近畿)・○湯田 冴 (アサギマダラの会), アサギマダラとマーキング調査法の紹介ビデオ</p>
休憩		
10:10 - 11:25	一般講演 (セッション3)	
A会場 弥生講堂 一条ホール		B会場 農学部2号館 化学第1講義室
<p>A205. ○水谷廉太郎・屋宜禎央・広渡俊哉 (九州・九州大学), ミズガンピを寄主とする <i>Phycita</i> 属 (チョウ目: メイガ科) の1未記載種</p> <p>A206. ○広渡俊哉¹・屋宜禎央¹・Mu Mu Aung²・Deliver Htwe²・田中伸幸³・神保宇嗣³ (1九州大学, 2ミャンマー森林研究所, 3国立科学博物館), <i>Nemophora seraphias</i> (Meyrick, 1907) (ヒゲナガガ科) のミャンマーからの発見</p> <p>A207. ○金井 賢一・守山 泰司 (九州・鹿児島昆虫同好会), 鹿児島県昆虫目録が作成されます</p> <p>A208. 井上大成 (関東・森林総研多摩), シジミチョウ科幼虫の頭幅 (予報)</p> <p>A209. ○江田慧子¹・井上大成²・江田信豊³ (1近畿・関西学院大学, 2関東・森林総研多摩, 3東海・元南山大学), 47都道府県のチョウを使ったカードゲームの制作</p>		<p>B205. 鈴木 光 (九州・福岡市), ヒメアカタテハの触角長について</p> <p>B206. ○中村 英夫・栗原 健二・岩野 秀俊 (関東・相模の蝶を語る会), 神奈川県に侵入したムシャクロツバメシジミの分布拡大について</p> <p>B207. ○栗原健二¹・中村英夫²・岩野 秀俊² (1相模の蝶を語る会, 2関東・相模の蝶を語る会), 移入種ムシャクロツバメシジミの神奈川県での棲息環境と食草について</p> <p>B208. 木村富至 (近畿), 福井県の鹿害をほとんど受けないギフチョウ棲息地の調査報告ー地質と不思議なカンアオイ類からシカの影響を受けない謎に迫るー</p> <p>B209. 竹内 剛 (近畿・三草山トラスト委員会), ウラナミアカシジミの生息地選好性について</p>

11:30 - 12:00	ポスター発表（コアタイム） 弥生講堂 一条ホール前	
<p>P01. 小田康弘（関東支部・埼玉昆虫談話会），ルーミスジミの雌雄差解明</p> <p>P02. ○久井花恋¹・矢後勝也²・上田昇平¹・竹内 剛¹・鈴木真裕³・平井規央¹（¹近畿・大阪公大院・農，²関東・東大総研博，³大阪公大院・農），クロツバメシジミの翅色と配偶行動における外来寄主植物の影響</p> <p>P03. ○天野綾也¹・渡邊通人²・上田昇平¹・平井規央¹（¹近畿・大阪公立大院・農、²関東・生物多様性研究室），ヤマキチョウ越冬成虫の個体群動態</p> <p>P04. ○池田拓翔¹・上田昇平¹・中村康弘²・平井規央¹（¹近畿・大阪公立大院・農，²関東・日本チョウ類保全協会），広島県と福島県の複数の生息地におけるヒメシジミの寄主植物選好性</p> <p>P05. ○岸本里菜¹・上田昇平¹・角正美雪²・平井規央¹（¹近畿・大阪公立大院・農，²伊丹市昆虫館），オオゴマダラに対するマダラヤドリバエの寄主適合性</p> <p>P06. ○塚本刀麻・上田昇平・平井規央（近畿・大阪公立大院・農），フチグロトゲエダシヤクの生活史と遺伝的多様性</p> <p>P07. 長井 丈（近畿・神戸市立井吹東小学校・孫正義育英財団），アゲハの幼虫期記憶の世代間継承とエピジェネティクスに関する研究</p> <p>P08. 海老原大知（関東・埼玉県立春日部高等学校），屋久島における鱗翅目の生息調査</p> <p>P09. 大東康人（近畿），高等ゼフィルスの交尾戦略② ジョウザンミドリシジミ♂</p>		
各種委員会		
A会場 弥生講堂 一条ホール		B会場 農学部2号館 化学第1講義室
自然保護委員会（公開開催） 12:30～13:10		将来問題検討委員会（非公開） 12:00～12:30
13:20 - 13:50	総会 A会場 弥生講堂 一条ホール	

14:00 - 16:40	公開シンポジウム A会場 弥生講堂 一条ホール
<p>「都道府県のチョウ」</p> <p>オーガナイザー：小田康弘（関東地区自然保護委員長）</p> <p>基調講演 矢後勝也（関東／東大・総研博） 「保全のシンボルとしての都道府県のチョウ」決定の経緯とその意義</p> <p>S101. 上野雅史（北海道） 北海道地区における都道府県のチョウ 選定に関するエピソード、および温暖化による分布境界線の蝶について</p> <p>S102. 工藤 忠（東北） 東北地区6県における都道府県のチョウ 青森県におけるゴマシジミ研究の歴史</p> <p>S103. 松村行栄（関東） 関東地区8都県における都道府県のチョウ 群馬県でのヒメギフチョウ保全の取り組み</p> <p>S104. 福本匡志（信越） 信越地区4県における都道府県のチョウ 長野県でのオオルリシジミの保全について</p> <p>S105. 鈴木英文（東海） 東海地区4県における都道府県のチョウ 選定理由と静岡県でのフジミドリシジミについて</p> <p>S106. 中上喜史（近畿） 近畿地区7府県における都道府県のチョウ 各指定種の生息状況と保全状況について</p> <p>S107. 亀山 剛（中国） 中国地区5県における都道府県のチョウ 広島県でのヒョウモンモドキ保全の取り組み</p> <p>S108. 窪田聖一（四国） 四国地区4県における都道府県のチョウ 各指定種の生息分布などの現況について</p> <p>S109. ○安本潤一・佐々木公隆（九州）九州地区8県における都道府県のチョウ 宮崎県でのツマベニチョウの現況・保護活動について</p>	
16:40 - 16:50	閉会挨拶・ポスター賞授賞式